

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成24年7月13日
【四半期会計期間】	第98期第2四半期（自平成24年3月1日至平成24年5月31日）
【会社名】	川上塗料株式会社
【英訳名】	KAWAKAMI PAINT MFG.CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 野村 茂光
【本店の所在の場所】	兵庫県尼崎市塚口本町2丁目41番1号
【電話番号】	(06)6421-6325 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 松下 田佳子
【最寄りの連絡場所】	兵庫県尼崎市塚口本町2丁目41番1号
【電話番号】	(06)6421-6325 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 松下 田佳子
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第97期 第2四半期連結 累計期間	第98期 第2四半期連結 累計期間	第97期
会計期間	自平成22年 12月1日 至平成23年 5月31日	自平成23年 12月1日 至平成24年 5月31日	自平成22年 12月1日 至平成23年 11月30日
売上高(千円)	3,117,170	2,845,472	6,170,558
経常利益(千円)	50,616	35,648	69,825
四半期純利益又は四半期(当期)純損失() (千円)	94,881	33,173	78,262
四半期包括利益又は包括利益(千円)	97,425	33,791	100,064
純資産額(千円)	477,941	508,739	475,156
総資産額(千円)	5,774,259	5,429,405	5,447,720
1株当たり四半期純利益又1株当たり四半期(当期)純損失() (円)	9.52	3.33	7.85
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	8.28	9.37	8.72
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	439,242	72,576	182,187
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	11,004	36,159	29,436
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	76,899	75,644	157,258
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	930,105	685,460	573,398

回次	第97期 第2四半期連結 会計期間	第98期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 3月1日 至平成23年 5月31日	自平成24年 3月1日 至平成24年 5月31日
1株当たり四半期純利益又1株当たり四半期純損失() (円)	9.37	2.27

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第97期、第97期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式がないため記載しておりません。
4. 第98期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は潜在株式がないため、記載しておりません。
5. 第97期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスク及び、前事業年度の有価証券報告書に記載いたしました「事業等のリスク」について、重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、新たに決定又は締結した経営上の重要な契約等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1)業績の状況

(経営成績の分析)

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、景気は緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州の債務問題の影響などもあり、厳しい状況下で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは前連結会計年度に引き続き、人件費をはじめとする諸経費の削減、製造原価の低下などの対応策を行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,845百万円（前年同期比8.7%減）、経常利益35百万円（前年同期比29.6%減）、四半期純利益33百万円（前年同期四半期純損失94百万円）となりました。

なお、当社グループは、塗料の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載は省略しております。

(財政状態の分析)

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ現金及び預金が112百万円、商品及び製品が57百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が110百万円、原材料及び貯蔵品が49百万円それぞれ減少したこと等により、5,429百万円（前連結会計年度末比18百万円減）となりました。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ長期借入金が78百万円、退職給付引当金が47百万円それぞれ増加し、支払手形及び買掛金が165百万円減少したこと等により、4,920百万円（前連結会計年度末比51百万円減）となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が33百万円増加したこと等により508百万円（前連結会計年度末比33百万円増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、685百万円（前年同期末残高930百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は72百万円（前年同期は439百万円の増加）となりました。これは主に売上債権の減少110百万円、減価償却費52百万円、退職給付引当金の増加47百万円、仕入債務の減少165百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は36百万円（前年同期は11百万円の減少）となりました。これは主に生産設備の維持更新のための有形固定資産の取得による支出34百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は75百万円（前年同期は76百万円の減少）となりました。これは主に長期借入による収入350百万円、長期借入金の返済による支出242百万円及び短期借入金の返済による支出30百万円等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は128百万円であります。また、研究開発による新製品は、次のとおりであります。

- ・ 建機用ハイソリ型中塗り塗料

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年7月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,000,000	10,000,000	大阪証券取引所 市場第二部	単元株式数は 1,000株
計	10,000,000	10,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年3月1日～ 平成24年5月31日	-	10,000,000	-	500,000	-	41,095

(6) 【大株主の状況】

平成24年5月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
川上塗料共栄会	兵庫県尼崎市塚口本町2-41-1	685	6.85
三井物産(株)	東京都千代田区大手町1-2-1	601	6.01
三井化学(株)	東京都港区東新橋1-5-2	570	5.70
大阪証券金融(株)	大阪市中央区北浜2-4-6	491	4.91
みずほ信託銀行(株)	東京都中央区八重洲1-2-1	260	2.60
関西ペイント(株)	大阪市中央区今橋2-6-14	248	2.48
住友生命保険(相)	東京都中央区築地7-18-24	225	2.25
小出八州男	岐阜県各務原市	222	2.22
川上塗料従業員持株会	兵庫県尼崎市塚口本町2-41-1	178	1.78
三井物産ケミカル(株)	東京都中央区新川1-17-21	128	1.28
計	-	3,608	36.08

- (注) 1. は当社取引先の販売店持株会であります。
2. 所有株式数は千株未満を切り捨てて記載しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(普通株式) 45,000	-	-
完全議決権株式(その他)	(普通株式) 9,906,000	9,906	-
単元未満株式	(普通株式) 49,000	-	-
発行済株式総数	10,000,000	-	-
総株主の議決権	-	9,906	-

【自己株式等】

平成24年5月31日現在

所有者の氏名又は 名称	所有者の住所	自己名義所有株式 数(株)	他人名義所有株式 数(株)	所有株式数の合 計(株)	発行済株 式総数に 対する所 有株式数 の割合 (%)
川上塗料(株)	兵庫県尼崎市塚口本町 2 - 41 - 1	25,000	-	25,000	0.25
(株)友進商会	大阪府守口市大庭町2 - 8 - 24	-	20,000	20,000	0.20
計	-	25,000	20,000	45,000	0.45

(注) (株)友進商会は当社取引先の販売店持株会である川上塗料共栄会の会員であり、川上塗料共栄会名義で所有しております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年3月1日から平成24年5月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年12月1日から平成24年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	574,298	686,360
受取手形及び売掛金	2,001,481	1,890,892
商品及び製品	761,172	818,388
仕掛品	30,463	22,886
原材料及び貯蔵品	255,684	205,795
その他	65,785	68,401
貸倒引当金	24	44
流動資産合計	3,688,861	3,692,679
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	414,578	400,815
機械装置及び運搬具(純額)	139,335	130,882
土地	775,505	775,505
その他(純額)	46,590	46,586
有形固定資産合計	1,376,010	1,353,790
無形固定資産	5,848	6,374
投資その他の資産		
投資有価証券	330,120	329,046
その他	46,879	47,804
貸倒引当金	-	290
投資その他の資産合計	376,999	376,561
固定資産合計	1,758,858	1,736,725
資産合計	5,447,720	5,429,405

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,960,700	1,794,966
短期借入金	1,608,170	1,606,849
未払法人税等	7,790	5,428
その他	242,085	235,461
流動負債合計	3,818,746	3,642,705
固定負債		
長期借入金	640,017	718,462
退職給付引当金	305,350	353,109
役員退職慰労引当金	53,300	52,632
繰延税金負債	27,718	23,794
その他	127,432	129,962
固定負債合計	1,153,818	1,277,960
負債合計	4,972,564	4,920,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	41,095	41,095
利益剰余金	97,141	63,968
自己株式	6,725	6,933
株主資本合計	437,227	470,193
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	37,928	38,546
その他の包括利益累計額合計	37,928	38,546
純資産合計	475,156	508,739
負債純資産合計	5,447,720	5,429,405

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年12月 1 日 至 平成23年 5 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年12月 1 日 至 平成24年 5 月31日)
売上高	3,117,170	2,845,472
売上原価	2,618,086	2,369,240
売上総利益	499,084	476,231
販売費及び一般管理費	443,375	437,166
営業利益	55,708	39,065
営業外収益		
受取利息	138	111
受取配当金	5,388	5,010
持分法による投資利益	1,492	2,619
技術権利料	12,664	14,253
固定資産賃貸料	1,038	1,038
その他	1,644	1,120
営業外収益合計	22,368	24,154
営業外費用		
支払利息	17,522	17,513
クレーム補償金	8,515	8,841
その他	1,421	1,218
営業外費用合計	27,460	27,572
経常利益	50,616	35,648
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,247	-
特別利益合計	1,247	-
特別損失		
退職給付制度改定損	143,950	-
特別損失合計	143,950	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 ()	92,087	35,648
法人税、住民税及び事業税	2,219	2,425
法人税等調整額	575	49
法人税等合計	2,794	2,474
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 ()	94,881	33,173
四半期純利益又は四半期純損失 ()	94,881	33,173

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	94,881	33,173
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,544	617
その他の包括利益合計	2,544	617
四半期包括利益	97,425	33,791
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97,425	33,791
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	92,087	35,648
減価償却費	49,729	52,358
退職給付引当金の増減額(は減少)	207,133	47,758
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,596	668
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,396	310
受取利息及び受取配当金	5,527	5,122
支払利息	17,522	17,513
持分法による投資損益(は益)	1,492	2,619
売上債権の増減額(は増加)	108,324	110,588
たな卸資産の増減額(は増加)	128,678	250
仕入債務の増減額(は減少)	327,458	165,733
その他	32,575	2,579
小計	453,006	87,704
利息及び配当金の受取額	6,022	5,622
利息の支払額	17,071	18,712
法人税等の支払額	2,715	2,037
営業活動によるキャッシュ・フロー	439,242	72,576
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	9,487	34,544
無形固定資産の取得による支出	595	962
投資有価証券の取得による支出	180	181
その他	740	472
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,004	36,159
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	30,000
長期借入れによる収入	150,000	350,000
長期借入金の返済による支出	225,552	242,876
リース債務の返済による支出	1,290	1,290
その他	57	189
財務活動によるキャッシュ・フロー	76,899	75,644
現金及び現金同等物に係る換算差額	602	0
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	350,735	112,061
現金及び現金同等物の期首残高	579,369	573,398
現金及び現金同等物の四半期末残高	930,105	685,460

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日至平成24年5月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。
(法人税率の変更等による影響) 「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後から開始する連結会計年度の法人税率の引き下げ及び復興特別法人税の創設が決定されたことにより、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.6%から、平成24年12月1日に開始する連結会計年度から平成26年12月1日に開始する連結会計年度において解消が見込まれる一時差異等について38.3%に、平成27年12月1日に開始する連結会計年以降において解消が見込まれる一時差異等については35.9%に変更されます。 なお、この変更による損益に与える影響額は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
保証債務 三井物産ケミカル(株)の売掛債権に対する保証額 39,499千円	保証債務 三井物産ケミカル(株)の売掛債権に対する保証額 38,296千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 従業員給料 106,839千円 運送費 67,841 退職給付費用 32,172 役員退職慰労引当金 5,196 繰入額	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 従業員給料 107,212千円 運送費 68,668 退職給付費用 27,804 役員退職慰労引当金 5,228 繰入額

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年5月31日現在) 現金及び預金勘定 931,005 千円 預入期間が3か月を超える 900 定期預金 現金及び現金同等物 930,105	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年5月31日現在) 現金及び預金勘定 686,360 千円 預入期間が3か月を超える 900 定期預金 現金及び現金同等物 685,460

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年12月1日至平成23年5月31日)

当社グループは塗料の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年5月31日)

当社グループは塗料の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失()	9円52銭	3円33銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	94,881	33,173
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は 四半期純損失()(千円)	94,881	33,173
普通株式の期中平均株式数(株)	9,971,265	9,968,327

(注)1. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年7月13日

川上塗料株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 林 由佳 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大谷 智英 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている川上塗料株式会社の平成23年12月1日から平成24年11月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年3月1日から平成24年5月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年12月1日から平成24年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、川上塗料株式会社及び連結子会社の平成24年5月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。